

# 里山だより

Vol.52

2013年6月



2013年3月－6月の活動報告

はしもと里山保全アクションチーム

〒648-7205 和歌山県橋本市高野口名倉 979-2F

TEL 0736-42-4102

<http://homepage1.nifty.com/actsatoyama/>

### 3月2日(土)、3日(日) 「公民館まつり」

毎年恒例の「橋本市公民館まつり」に出展参加しました。  
「伊都橋本地球温暖化対策協議会(エコランドいとはしもと)」と「プロムナード国城」と共同で、教育文化会館三階の「環境パネル展」でパネル展示を行いました。  
柱本地区芋谷の素晴らしい景観に感動される方が多く、また、多くの人が(特に若い人や子供たちが)参加するイベントを開催しているということに、「ぜひ自分たちも参加したい」という希望が多かったのが印象的でした。

また、生き物(植物、昆虫など)の写真にも興味を示し、ぜひ、そのような里山を訪れたいという希望者がたくさんおられました。

3月2日(土)は漆畑、大和田夫妻、佐藤、中谷、黒井、松本、中岡(奥様)、槇野。

3月3日(日)には漆畑、槇野、嶋村、大和田夫妻、佐藤、中谷、黒井、松本。

この日は、大阪南部の「里山倶楽部」副代表西村さんが来られました。

実物展示は、赤米(神丹穂)の稲束、アケビで作ったかごにフキノトウ、大和田さん作成の「芋谷ジオラマ」、会報(創刊号～49号)や森づくりの冊子、演習林の活動パネルなどにも関心を持たれた方が多かったようです。 【佐藤】



### 3月17日(日) 演習林での定例活動

時間：9:30 - 14:30 参加者：中岡、山岸、槇野、井奥、辻野(5名)

本日はいい天候のもとで下記の作業に汗を流した。

Bゾーンの、1月～2月に切り倒した木々や枝を90cmの長さにチェーンソーやのこぎりで切り揃えた。

それらを数か所に集め積み重ねて(このときに新兵器とび口を初めて使用)作業道を整備確保した。

まだまだ整理せねばならない倒木があるが、鬱蒼としていた里山が風がよく通る明るい風景になりました。

もうすぐ「わらび」がでてくるころです。 【辻野】

### 3月18日(月) イチガシの植樹

3月17日(日)の定例作業日にやり残しました「イチガシの植樹」を、朝8時より中岡さんと実施しました。

数年前、南紀の子供たちが植えたイチガシのドングリを、専門家が立派な苗に育てたもので、10本を和歌山県林務課より提供いただきました。

ふるさと演習林のシンボルツリーに育つようにとの願いを込めて、丁寧に植えました。

ふるさとの豊かな森が再現されることを祈ります。 【井奥】



### 3月20日(水) 芋谷での臨時活動

時間：9:00 - 24:00

参加者：大和田夫妻、嶋村夫妻、佐藤、真壁、渡邊、  
西川(大人1人、子供3人)、槇野(12名)

くもり空の中、3人の子供たちと、大人5名(大和田さん、嶋村夫妻、渡邊さん、西川さん)でジャガイモの植え付けを行いました。

男爵イモ3kg、メークイン3kgは、子供たちの大活躍で1時間もかからず植え終わりました。

畝がまだ半分以上残ったので、ジャガイモの種芋をあと6kg追加購入し、3月24日の活動日に植え付けすることにしました。



大和田さんは竹の整理、佐藤さんは耕作、真壁さんと槇野は調理担当と作業を分担して行いました。  
昼食は、紫蘇の実入りの御飯、具だくさんの豚汁でした。 【槇野】

### 3月24日(日) 芋谷での臨時活動

時間：9:00 - 16:30

参加者：豊島、槇野、渡邊、大和田夫妻、佐藤、中（7名）

9時集合、道具類を携えて、OS-4の竹の柵の中、「じゃが芋畑」で植え付け作業。

じゃが芋6kg（前回と合計で12kgになります）と、ショウガ2kg 植え付け。

草引き作業が大変なのでマルチも考えましたが、あまりビニール系の資材も持ち込みたくないの、雑草引きを兼ねて「土寄せ」を頑張ろうということに意思統一。

次に、K-1に里芋を植え付け。

この種イモは、田んぼの水路に大きな株になっていたもので、野菜コンテナに充分一杯分収穫。

巨大な種イモもたくさん取れたので、植え付けしておきました。収穫が楽しみです。

昼食はシソの実入りのご飯と、ちょっと趣向を変えてコーンクリームシチュー（だったと思うのですが・・・）。

おいしく頂きました。

午後から、耕耘機を川向こうのA-2の畑に移動させ、耕耘を行いました。

また、雑草や刈り枝などを燃やして解散（14時半）

イラスト看板を取り付けた部分に伐採木や枝が積み重ねられており、ここを片付けたくて、解散後16時30分頃まで作業をしました。

小枝や葉をもやし、やや太いのは、アクションの「薪」にしようと積んで置きました。 【佐藤】



### 3月27日(日) 演習林での定例活動

時間：9時 - 17時

参加者：中岡、中岡さんお孫さん、渡邊、林（協力者）、槇野、松本（指導）（6名）

曇り空の中、擬木での階段作りを、教えていただきました。

また、池の周りの遊歩道の橋作りをしました。

擬木の運搬、くい打ちなどで若い力（お孫さん）が、大活躍でした。

でも、力でなく道具の重さを生かして、くい打ちされた中岡さんにやはり「一日の長」をみましました。

南面の入り口付近の既設の階段は、朽ちており、擬木と取り換えました。

東面の入り口付近の階段も擬木で作りました。

女性陣は、伐採木の整理と、草刈りを行いました。

演習林は、見晴らしがよくなり、道から休憩場所が見通せます。

皆さんもぜひ一度、生まれ変わった演習林へ、お越しください。 【槇野】



### 3月31日(日) 芋谷での定例活動

時間：8時45分 - 17時 参加者：大和田、嶋村、槇野、渡邊、佐藤（5名）

9時前に集合して、「仮設トイレ（手作り・木造り）」をフィールド（川向こう側）まで運びました。

力丸に乗せ、高さ2m50cm位の木枠（屋根・床付き）は不安定なので、支えながら移動、その後、もう一度、必要な資材を力丸で運び入れ、完成作業に取り掛かりました。

その間、「上の田」には水を引き入れて、いよいよ耕耘機で「荒起こし」作業。

さらにもう一枚の田（OS-1）の田起こし（耕耘）

李（スモモ）の花と、山桜がきれいに咲いています。

立派な「移動式トイレ」が完成しましたので、これからの会活動が安心になります。 【佐藤】

## 4月7日(日) 2013年度総会

時間：9時～12時30分 場所：高野口公民館

参加者：佐藤、井奥、嶋村、別所、渡邊、楨野、大和田清之、漆畑、中岡、梅谷、辻野、黒井、眞壁ご夫妻、中谷、倉田、品川

三時間にわたって、熱心な議論が展開されました。詳細は、別紙総会議事録でご確認ください。

## 4月14日(日) 芋谷での臨時活動

時間：9:00～15:30 参加者：嶋村 M、大和田、辻野、佐藤、中谷、渡辺、眞壁、楨野、澤田、漆畑 (計10人)

作業内容

- ① 朝一演習林に集合、伐採切断済材木を運び出し、三石台大和田宅と芋谷に分割運搬。中岡さん宅から薪割り機も大和田宅に移送。
- ② ほうらく坂の落ち葉・土砂など掃除
- ③ 芋谷フィールド中央広場の整頓、薪保管場所新設
- ④ 田んぼ0S-1～4横の水路掃除
- ⑤ 苗代の雑草ゴミ除去

今年は相当にこの苗代が傷んでおり、今来週佐藤事務局長が代掻きしてみるが、使用不可の場合には、「上の田」を代替使用する。

- ⑥ 田んぼK4にて耕運機操作練習。現状、佐藤一人のみ負担のいびつな状況脱出を狙う。

辻野、漆畑、楨野、澤田が練習したが、辻野以外はまだまだ。

- ⑦ 負傷者発生時の移送ルート確認連絡

- ⑧ 新設仮設トイレの使用勝手確認

- ⑨ 昼食にはぶり汁を用意いただきました。楨野、渡辺、眞壁様お手数に感謝。

【漆畑】



## 4月21日(日) 芋谷での定例活動

時間：8:30～15:30

参加者：辻野、大和田 M、佐藤、佐藤さんの教室の高校生(松谷、溝脇)、友田一家4人、山岸、渡辺、楨野、中谷、漆畑

活動内容

- ① 黒米種初めの苗代播き

佐藤さんによりきれいに整地された所へ、まず黒米を蒔いた。

- ② 新規導入小型耕運機の使用法講習

既存の中型より大分小振りの機械が、本日到着、早速皆で練習した。

(パソコンの中西氏が搬入、説明指導あり)

- ③ 田植え準備代掻き

上記新鋭小型耕運機と既存中型機で K-4、K-3 で実施。

- ④ 川中の葦刈

K-3 田んぼ前の芋谷川に繁茂した葦を刈り取った。

昼食

今回はアクアフエスで出す昼食の味見を兼ねた鶏飯炊き込みご飯を美味しく頂いた。

所感

① 当所予定されていた芋谷地区の「いでし」共同作業が、天候不順で中止された為に、アクションチーム独自の作業目標のみで実施となったが、前述の中味をこなすと結構な作業量となった。(4月下旬としてはかなり寒い中で、



皆さんの頑張りあり。)

② 新鋭小型耕運機は予想通り使い勝手が良く、従来実質的に佐藤さん一人しか耕運作業をして来なかったものが、他の会員でも少しは作業出来る見通しが立った。

③ 今日の食事は鶏炊き込みご飯とおつゆであったが、200円会費では申し訳ない程に美味であり、料理班の方々に感謝。 【漆畑】

#### 4月28日(日) 芋谷での定例活動

時間：8:15 - 15:00 参加者：佐藤、嶋村 M、嶋村 J、中谷、青海一家4人、豊嶋、漆畑 (10名)

活動内容

##### ① 地区共同作業の「いでし」

先週、雨天順延となっていた水路掃除を実施。大西さん田んぼから尾浦さん田んぼまでの側溝をきれいに除草・浚渫。(佐藤さんが前日も一部を作業してくださっていました。)

##### ② モミ播き

先週の黒米に続き、赤米(神丹穂)、モチ、白米を播き苗代播き完了。

##### ③ アクションチーム本部広場の草刈

広場北斜面が草刈されたので、対比で草が目立つ我が広場石垣などを除草。

所感

先週と打って変わり、素晴らしい晴天の下で気持ちよく作業できました。

地元の方(大西さん、尾浦さん)とお話も出来て良い機会でした。

後はしっかり、たっぷり播いたモミが立派な苗に育ってくれるのを待つのみです。

(モミ種は何しろ、中谷さんが13日もの間、日夜精魂傾けて発芽させてくれた一級品ですから、安心しています。)

前週は友田さん一家、今週は青海さん一家と続いて小さいお子さん達の声が一響く中での会活動は明るく楽しいものです。

小さなお子様をお持ちのお父さんお母さん方、是非とも「芋谷楽園」へご一家でお越し下さい。

【まだ花粉症が治らずボーッとしたままの漆畑】



#### 4月29日(月) 佐藤さんからの報告

昨日(28日の定例活動)、20kgのモミ撒きを終えましたが、水の様子などを見に芋谷へ行きました。

予想外に水が入り込んでいて、「冠水」状態でした。

この時期に、地区の上の方へ水を入れる関係で、いつもはやや「濁水気味」なのですが、「想定外」でしたが、取水・排水の調整をして急場をしのいでいます。

(かなりのモミが流れましたが、仕方がありません。もう1時間早く田んぼに行っていたら...と悔やまれますが。)

田んぼへの入水量が多かったため、K-3の一番広い田の「荒代掻き」を大きい耕運機でやっておきました。

これには休まずに三時間はかかります。

せっかくの新しい耕運機を入れたので、人さえ来てくれれば、二台でやりたかったところです。

#### 5月3日(金) 芋谷での臨時活動

参加者：漆畑、佐藤、辻野(3名)

畦の草刈りをやってその後、田んぼの「荒代掻き」作業。

これで、小屋上の田、K-3、K-4、OS-1と4枚の田んぼに水が入りました。

ビオトープ脇の苗代も順調です。 【佐藤】



## 5月5日(日、こどもの日) 芋谷での臨時活動

時間：8:30 - 15:00 参加者：大和田、佐藤、嶋村 M、渡辺、漆畑 (5名)

### 活動内容

- ① メイン広場テント支柱増設  
大和田さん孤軍奮闘、竹材有効活用で進展中。
- ② 川向こうの A-2 田んぼ畝立て 10 本  
さつまいも 600 本植え付け用を完了。
- ③ 荒代掻き他  
OS-2 田んぼを中型耕運機で、K-3 田んぼを新鋭機で代掻きした。



### 所感

- ① 新鋭機のクラッチ部品が微細損傷し、修繕に長時間要した。機械というものは便利だが、ちょっとしたことに融通が効かないと痛感。それでも、今度の耕運機は中小型で大分扱いやすいのは確か。  
(嶋村さん、渡辺さんは今回十分にさわれず残念でした。佐藤さんの運転はいつもながら手馴れていて、流れるように代掻きも畝立ても完了で、只感嘆。)
- ② 建設組み上げ関連での大和田さんの作業も手早い。見る間に出来ていくのはお見事と云うほかナシ。 【漆畑】

## 5月12日(日) 芋谷での臨時活動

時間：9:00 - 13:30 参加者：大和田夫妻、嶋村 F、佐藤、渡辺、漆畑 (6名)

### 活動内容

- ① 中央広場テント増設工事  
切り出した竹材利用での屋根拡張。
- ② OS-4 田んぼのジャガイモ畑除草
- ③ イチゴ、かぼちゃなど畑作物手入れ
- ④ 苗代、水田の水位調節

### 所感

本日も素晴らしい好天で、清清しく短時間作業を行いました。  
昨日の雨に洗われた新緑の上に黄砂や「花粉」の混じらない文字通りの青空、鶯が盛んに啼き悠々と鶯が舞って行く棚田。  
「芋谷に絶えて花粉の無かりせば当にこの世の春と云うべし」 【花粉山人 漆畑】



## 5月15日(水) 芋谷での定例活動

季節は急に進み、初夏というより、夏本番ですね。芋谷の田園作業も、本格的になってきます。  
今朝がたの様子を写真で添付しました。

左から、K 3 の広大な田んぼのトノサマガエルの卵塊。

次の写真は K 4 で、田植えをし終わったように見えるのは、実は「雑草」のヒエ  
これをもう一度掻き込んで雑草対策(退治)をしてから田植えします。

- 3 枚目は、苗代の黒米の様子。葉が黒いので区別がつかますね。
- 4 枚目は、その隣に撒いた「神丹穂」と苗代で羽化したトンボ(シオカラトンボ♀)。  
さすがに古代米の成長は早い。他のキヌヒカリやモチヒカリと比べると明らかに違います。  
現在、ピオトープの水を開放し、魚道を通して川に流れ込ませています。

ピオトープの水が極端に少なくなったら、「開放口」を止めてください。おそらく、上から流れ込んでいるので大丈夫と思います。

なお、OS 2 は渇水しています。ここは別系統で水を入れる仕組みをつくらなければなりません。

【佐藤】



## 5月19日(日) 演習林での定例活動

時間：8:30 - 12:30 参加者：中岡、井奥、辻野、楨野、澤田、漆畑 (6名)

Cゾーンの笹根除去、林道の下草刈などを行いました。

数年に跨っての竹林除伐の成果か、当ゾーンに竹は見えなくなったが、尚その根がしぶとく残存しています。

一旦竹林になってしまうと、その討伐には如何に甚大な労力を要するか、身を以って体験しました。

以前に蒔いておいたシイタケが生育しており、それを収穫できたのが良かった。 【漆畑】



## 5月19日(日) 芋谷での定例活動

参加者：佐藤、大和田、佐藤さんの教室の小学生三名、嶋村ご夫妻、渡邊、辻野、楨野、澤田、漆畑

間近な「田植え」へ向けて、一日も遅れることができないので、この日は「芋谷」と「山内」との別れて作業しました。

午前中には

- ・さつま芋定植予定地の、畝の草取り。(小学生3名も参加)
  - ・電気柵のコードを巻き取り、その下の部分の草刈りと、それに接続する斜面の裾の草刈り。
  - ・電気柵と併せて設置してある「網」の巻き上げ(草刈りのため)
- などの作業を行いました。

午後からは、演習林での作業を終えたメンバーも合流してくれ、雨の降る中作業を始めました。

K-4の代掻き、OS-2の代掻きと、クワを使っての畦塗り(水面より周囲の畦を高くする作業)などを行いました。

予定の約半分の作業を完了しましたが、今後の作業が重なってきます。

- ・K-2の田起こし(レンゲの鋤き込み)
  - ・K-3の荒代掻き
  - ・OS-1の荒代掻き
  - ・川向うトイレへ続く部分の草刈り
- などが残されました。 【佐藤】



## 5月19日(日) 柱本集会場での「地元映画会」

地元の暮らし、農作業、会話、行事などを1年間かかって取材した映画「題名：つなぐこと」のお披露目会がありました。地区の方たちが60名も参加してくださり、アクションチームからも7名参加しました。その他、柱本保全会の役員も参加。

美しい映像と、折に触れての会話や行事のことなど、地元を深く知る良い機会になりました。お時間をいただき、辻野代表から、日頃お世話頂いていることへの感謝と「アクア」イベントへのご協力をお願いをさせていただきました。

この映画は、地域の良さをアピールし、地区の皆さんが元気になり、多くの人でにぎわう里づくりをめざし、2010年に、アクションチームと地区、および周辺の行政、市民が中心となって立ち上げた「柱本田園自然環境保全会」の企画によるものです。

代表は大原区長、事務局長は佐藤で、国の助成資金を獲得し、小学校の生きもの調査、水田魚道設置、池の環境整備、そして映画作りを行いました。

今年も、さまざまな活動を計画しています。ぜひ、地元と共に活動を盛り上げていきましょう。 【佐藤】



### 5月21日（火） 芋谷での臨時活動

時間：7:30 - 12:00 参加者：佐藤、大和田、渡邊

今日の芋谷の活動は朝早くから大和田夫妻が小屋前の屋根作り、雨を流す樋を作る作業。  
その後、佐藤は川向こうさつまいも畑周辺とトイレへ続く畔の草刈り、渡邊さんは草刈り機を使って、畑部分の草刈り。  
あとは、テント枠内の地面の畦板を引き抜いて、平らに整地を行ないました。

夕方、柱本小学校で会議を行い、今年度の小学生生き物調査は6月25日（火）午前中に決まりました。 【佐藤】

### 5月26日（日） 芋谷での臨時活動

参加者：大和田夫妻、豊島、渡邊、楨野、澤田、嶋村夫妻、佐藤、永田（新入会）（10名）

真夏のような暑さの中、今日の作業内容は多く、皆様大変お疲れ様でした。

いよいよ我々の田も、田植えの始まりです。

午前中は、

- ・たまり場の屋根のシート張り
- ・黒米の苗取り、田植え（上の田）

黒米の品種は「朝紫」、1kgの入手（購入）ではやや少なかったと思います。

昼食には、「AQUA SOCIAL FES」のリハーサルとして、本番と同じ手順で作ってくださったカレーライスをいただきました。

その後、「AQUA」当日の役割分担の説明を行いました。

午後からはさつま芋の苗植え（600本）を行いました。

川向うのA-2だけでは植える場所が足りずに、K-1の畑5畝も使って植え切りました。 【佐藤】



### 5月28日（火） 嶋村さんからの報告

午前中、水田の様子見に行きました。

午後からの大雨の事態に備えて、取水口を少し絞りました。 【嶋村洋子】

### 5月29日（水） 嶋村さんからの報告

昨夜の雨で水田の稲の状態が気になり、早朝（5時半）から、見に行きました。

安定した状態で水が保たれていました。

川の水も思ったより増えていませんでした。 【嶋村洋子】

### 5月30日（木） 嶋村さんからの報告

7時半頃、水田の様子見に行きました。

昨日と変わった様子はなく、川の水も増水していません。安定した様子です。 【嶋村洋子】



### 5月31日（金） 嶋村さんからの報告

26日に田植えをしてから、今日で五日目です。

小さいながらも背筋を伸ばしてしっかりと定着しています。

水も安定しています。 【嶋村洋子】



## 6月2日(日) 芋谷での臨時活動

時間：8:30 - 16:00

参加者：辻野、大和田夫妻、嶋村夫妻、澤田、渡邊、槇野、中、西川（子ども3人参加）、  
青海夫妻（子ども2人参加）、佐藤（17名）

一週間後に迫った「AQUA SOCIAL FES」に備えて、フィールド整備と田んぼの代掻きを  
やりました。

草刈り機で、田んぼの畦や石垣を中心にフィールド全体の草刈り。

澤田さんが最後まで頑張ってくれました。

今日は涼しかったので助かったのですが、「体に来た」のではないかと ...

川のクレソンを部分的に刈り取り、川縁に足洗い場を設営しました。

あとは田植えをするK3とK4の広大田んぼの代掻き。耕耘機2台を使って丁寧に泥をかき、丸太も登場して人力で引っ張り均  
平にしました、が、もう一度5日頃、仕上げを行います。

昼食もアクアに備えて、リハーサルに余念なく、さすがに達人の領域に達していたように思います。 【佐藤】



## 6月7日(金) 芋谷での臨時活動

時間：7時30分 - 11時30分 参加者：大和田夫妻

AQUA SOCIAL FES に合わせ、更衣室を設置。



## 6月8日(土) 芋谷での臨時活動（「AQUA SOCIAL FES」の事前準備）

時間：8:30 - 16:00

参加者：辻野、大和田夫妻、嶋村夫妻、渡邊、山岸、豊島、澤田、佐藤、槇野

翌日に迫ったアクア当日に向け、最終チェックと苗取りをおこないました。

晴天で日差しの中での苗取りは、少しするだけで汗だくになりました。

各自持参の昼食後、テント張り、調理場整理、川の清掃とそれぞれが明日に向けての準備をおこないました。 【槇野】

## 6月9日(日) 「AQUA SOCIAL FES」

時間：8:30 - 16:00

参加者の実数は、正式エントリー100名（180名希  
望者から選別を行いました）。

スタッフ（アクション+地元スタッフ）と事前に把握し  
た「関係者」が51名。

当日の「飛び入り」が8名くらい（トヨタ関係、地元住民、  
その他、報道関係）

総勢160名を超える参加者が、初夏の棚田に展開し、  
目を見張るにぎわいになりました。

「昔を思い出す」という地元の方の声もありましたが、か  
つてない「マンパワー」を集結させた今回のアクアフェス、  
ウグイスもホトトギスも、驚いて、鳴き止むほどでした。

特筆すべきは、昨日の猛暑が打って変わって、雲が陽  
を遮って、さわやかな風が立ち、「熱中症」の心配も不要。  
天候までも味方に付けた「アクションチーム」パワーには、  
並々ならぬものを感じました。

全てが順調に進み、参加者のそれぞれにかけがえない記  
憶と経験をプレゼントできたものと思います。 【佐藤】



翌日の産経新聞に、「棚田で昔ながらの田植え体験 和歌山・橋本」という記事が載りました。(以下コピー)

自然豊かな里山の棚田で田植えを体験する「アクアソーシャルフェス」(はしもと里山保全アクションチーム主催)が9日、橋本市柱本で行われ、県内外の家族連れら約100人が昔ながらの手植えに挑戦した。

柱本地区には棚田やため池などがあり、保護に取り組む住民サークル「柱本クラブ」は今年わかやま環境賞特別賞を受賞した。

同チームは、棚田を借り受けて自然農法に取り組んでおり、この日は2枚の棚田で昔ながらの木枠とロープを使って田植えに挑戦。参加者のほとんどは初体験で、裸足になって水田に入り、慣れない手つきで1株ずつ丁寧に植えていった。子供たちも泥だらけになりながら田植えを楽しんだ。

昼食には、同チームが昨秋収穫した古代米や地元産の野菜を使ったカレーが振る舞われた。家族4人で大阪市から訪れた新開裕美さん(42)は「泥遊びが好きなお子供が田んぼの泥を怖がっていたのは意外だったが、自然に親しむいい機会になった」と笑顔で話した。



## 6月16日(日) 芋谷での定例活動

時間: 8:30 - 16:00

参加者: 辻野、大和田夫妻、嶋村(洋)、楨野、渡邊、豊島、澤田、真壁、友田夫妻(子ども2)、西村夫妻(子ども1)、青海夫妻(子ども2、友達2)、野田(子ども1)、佐藤(子ども4人連れ) (17名)

今年の米つくりのヤマ場、「田植え」がたくさんの方たちの参加によって完了しました。

参加者、アクアイベントで160名、今日の田植えで31名。

植えた田んぼ面積30アール(3反、3000㎡)。

植えた稲の苗18万本~20万本。

参加した小学生以下の子どもたち約100名。

最年少0歳、最高齢(不明)

芋谷の田んぼやその周辺の水路、ビオトープ、芋谷川には生き物がいっぱいいます。

子どもたちには、カエル(トノサマガエル、ツチガエル、カジカガエル、ニホンアマガエル)、イモリ、サワガニ、カワムツ、ヨシノボリ、トンボやチョウもたくさん飛んでいます。

それが楽しくて、終わって帰るのが辛いみたい...。

この「自然空間」を守り、未来へつなげていきたいですね。

空気も、水も、人も、泥も、みんなが清らかでありたいと思います。

早朝から大和田さんが芋谷川「たまり場」下付近の河川域の草刈りをしてくれました。

苗取りと田植え(K2とOS1)に分かれて木枠を使って丁寧に田植え、その後、K4の残りを完了し、差し苗も。

昼食休憩を早めに(子どもたちの遊び時間も提供)

午後から、「上の田」に神丹穂(赤米)、OS2へ全員が集まり田植え完了(モチと神丹穂)

神丹穂(赤米)は現在市販がなく入手困難。苗がかなり残りました。必要な方ご連絡ください(2畝分くらいはあります)

たくさんの方と共に田植えができてとても楽しかったです。

子供たちもいっぱい参加してくれて楽しかったです。【佐藤】

